

## 第32回JCBH講演会 チベットを知らう

1. 日時：11月13日（木） 15：30～17：30
2. 場所：トヨタ自動車(株)東京ビル B1 大会議室（東京都文京区後楽1-4-18）
3. 講師：大川 謙作（東京大学東洋文化研究所汎アジア研究部門 助教）

### 講師プロフィール：

- 1975.8. 生まれ
- 1998.3. 早稲田大学第一文学部（西洋史）卒業
- 2000.3. 東京大学大学院総合文化研究科（文化人類学）修士課程
- 2006.3. 東京大学大学院総合文化研究科 博士課程単位取得退学
- 2006.4. 東京大学東洋文化研究所 助手
- 2007.4. 東京大学東洋文化研究所 助教
- 2002.5.～2003.2. 中央研究院（台北）近代史研究所 訪問学員
- 2004.9.～2005.8. チベット大学（中国チベット自治区ラサ）留学

### 研究活動の概要：

現代チベットを事例として「社会と個人の関係がいかなるものか」を考える研究を行っています。具体的にはチベットの近現代史において、諸個人が「親族」や「民族」のような社会範疇を如何に用いて「チベット」という全体社会を構想していったのか、という問いを設定してこれに関わる諸問題を追求しています。日本文化人類学会参加。


### 講演概要：

まだ私達にとっては未知の地であるチベットについて、ラサへ留学経験もある大川先生に基礎知識（地理・歴史）の概説、お祭りや儀礼についてスライドを交えながらお話をしました。

チベット開国からはじまり、ラサにはファーストフードがあるか？などチベットの食生活の話。青蔵鉄道（＝青海チベット鉄道）が開通し、近年観光業が盛んになりつつありますがチベットの人達も日常使用するのか？と思いきや運賃が高いため実際にはあまり使用されていないようで一般的な交通ルートはラサ～中国・成都間：バスで3日かかる。など私達の知らないことをわかり易く講演頂きました。また参加者の名前をチベット文字で書いて頂いたり和やかで楽しい講演会となりました。（参加者=43名）


### 仏教渡来の伝説

- ネパール妃ティソンはトウルナン寺（チョカン寺、大昭寺）を建立。
- 唐文成公主はラモチェ寺（小昭寺）を建立。
- ちなみに今日の俗説では逆（本尊の入れかわりの為か）



### チベット文字

- 伝説：開国の英明ソンツェン・ガンボ王が大臣トウンミ・サンボタをインドに派遣させて文字を創設。
- 史実として7世紀前半には文字は存在（ひらがな実用化より2世紀先行）。梵語系グプタ文字がモデル。
- 30の子音字、4つの母音記号。3つのメジャーな字体。



(A.H 記)

(関連記事：会報 NO.176 掲載)